

ほかほかふれフェスタ参加団体訪問記  
障害福祉サービス はやぶさ



お正月気分もまだ抜けきらない1月10日(金)南区古淵にある障害福祉サービスの事業所 はやぶさにおじゃましました。ここは3階の3階。午前の始業間もない時間だったので皆さん忙しい様子に作業を始められていたJUNJUNでした。さっそく管理者の流合けい子さんから作業の様子を見せていただく。作業部屋は3つに分かれていて、1つ目は不要になって集められてきたCDやDVDを、プラスチックケースと本体のディスクとラベルの3種類に解体して分別している。CDとDVDも別々に分ける。ラベルも紙だけで出来ている物と他の素材(リール、金箔など)が含まれている物にも分ける。プラスチックケースはボールペンに再生利用されているもので、現物のボールペンを見せてもらった。とてもシンプルで使いやすいです。

次に案内してもらった部屋ではさっきの部屋で分別されたプラスチックケースの検品。シールなどがついていなければそのまま分ける。CDとDVDも別々に束ねられる。手慣れた作業の様子は利用者さんも職員さんも同じ。手際よく行われている。



事業所内の様子。中央が流合けい子さん。



CDなどのプラスチックケースを再利用して作られたボールペン。

3つ目の部屋はポップコーンの製造と包装。福岡県にあるシェアリースポップコーンという会社の加盟店になっていて、なんと18種類もの味が楽しめる。中でもいちばんの人気はチョコリット味なのだ。このポップコーンは市内や都内など各地で開かれるイベントに参加、販売している。もちろん、ほかほかふれあいフェスタにも秋冬参加しているが、今年度の秋のほかふれは台風のため開催されなかった。イベントへの参加は準備も大変だが、半分は自分たちも楽しめることが良いのだ。



部屋の隅には、仕分けを待っているCDやDVDが入ったコンテナがうすたかく積まれて。

事業所の概要...

平成14年の開設。平成30年10月1日リクルールから「はやぶさ」名称変更。これは施設の種類が就労支援B型に変わったことによるもの(雇用契約を結びA型と雇用契約を結ばないB型の2つがある)。

○ポップコーン事業、繊維製品生産の軽作業、清掃業、CD・DVD製品の仕分。

○利用人数20名。身体障がい、精神障がい、聴覚障がい、視覚障がい、知的障がい、難病指定の方がいます。

当施設のモットーは「障がいは身近なものだからこそ、人にやさしい職場づくり」です。お互いに助け合いながら作業を進めています。バス、電車を利用して通所しています。月々金曜日、9時45分〜午後2時45分。職員5人。



壁には仕分け方法の詳細な説明が。



個人間の相性もあり、スケジュール管理もなかなか大変ですが、流合さんの人柄でどうぞ乗り切っていました。お忙しいJUNJUNもめがめがうらやましました。(恒藤・植野)

ほかほかふれあいフェスタで好評だったポップコーン!



障害福祉サービス はやぶさ  
管理者 流合けい子  
〒229-0004  
相模原市南区古淵6-1-1  
☎042-767-5455

ワインの巻



①は、②の餅。

昔は、お金ではなく小さな丸い餅を沢山作りの供え物や親戚などに配っていました。それが江戸時代になって商人が奉公人の子供に餅の代わりにお金をあげるようになったり、それが広まると現在にも風習が残っています。

②は、①のめでたさを重ねるという意味から。

重箱には「めでたさが重なる」「福を重ねる」という意味があり、重箱に詰めるようになったと言われています。

③は、②の爪切り。

1月7日に爪を切ることによって邪気を払うことができ、その年は風邪を引かないようになると考えられていたそうです。